

## 理念・存在意義

### 企業理念

# 革新と成長

GS YUASAは、社員と企業の「革新と成長」を通じ、人と社会と地球環境に貢献します。



旧日本電池と旧ユアサ コーポレーションの初期の自動車用鉛蓄電池

### サステナビリティ経営方針

GS YUASAは、電池で培った先進のエネルギー技術で世界のお客様へ快適さと安心をお届けし、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します。

1. サステナビリティ課題の解決に貢献し、社会と共に持続的に成長します。
2. 公正で健全な経営を遂行し、持続的な成長を支える強固な事業基盤を保持します。
3. 多様なステークホルダーと対話し、理解を得ながら、信頼関係を構築します。

### コーポレートスローガン

## Creating the Future of Energy

### スローガンに込められた思い

変化し続ける時代のニーズにあわせて常にエネルギー(蓄電池)の新たなカタチを未来に向けて創り続けることを宣言しています。

## 新しい価値を生み出し、持続可能な社会の実現に貢献

当社は「日本電池」と「湯浅蓄電池製造」という二つの企業を母体として、20世紀初頭から、さまざまな社会インフラを支えるバックアップ電池電源、自動車・オートバイ用鉛蓄電池など、時代のニーズに応じた製品を社会に提供してきました。両社の創業者が大切にしていた発明家精神とチャレンジ精神が、これまでの社会課題を解決する新しい価値を生み出す原動力となってきました。

今日カーボンニュートラルが重要な社会課題となる中、時代の変化とともに、「エネルギーを蓄え、必要な時に供給する」という機能を持つ当社グループの製品に求められる役割はかつてないほど大きくなっています。2004年の経営統合を契機に定めた「革新と成長」という企業理念は、「社会に貢献する新しい価値を創出し、それらによって自らも持続的(サステナブル)に成長すること」であると私は理解しています。変わりゆく社会環境の中で当社が成長し続けるためには、これまで培ってきた技術をさらに革新するとともに、それらの技術を社会に広げ、エネルギーマネジメントができる会社になっていかなければなりません。この方向性を明文化するために、従来の「経営ビジョン・経営方針」を見直し、新たに「サステナビリティ経営方針」を策定しました。これまで培ってきたエネルギー技術を生かすことで、今の時代に必要とされる新しい価値を生み出し、社会と共に成長を果たしていくという経営姿勢を示したものです。私自身が先頭に立ち、グループ一体となってサステナビリティ経営方針を実践することで、次の100年も社会にとってなくてはならない会社となることを目指します。

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション  
代表取締役 取締役社長

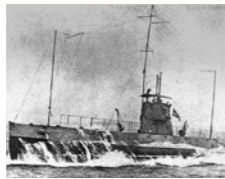
村尾 修



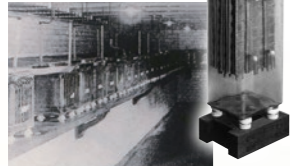
# GSユアサのあゆみ

特殊電池およびその他事業

**1919年**  
潜水艦用鉛蓄電池を製造



**1895年**  
島津源蔵が初めて鉛蓄電池を製造



自動車電池事業

日本の自動車産業の発展に貢献

**1919年**  
自動車用鉛蓄電池の製造開始



産業電池電源事業

日本の社会インフラの発展に貢献

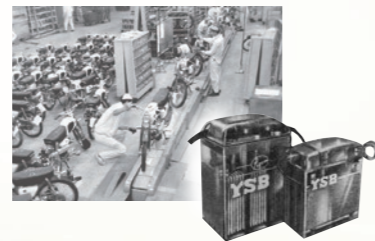
**1920年代**  
ビルや社会インフラの予備電源として需要拡大



自動車電池事業

オートバイの普及に貢献

**1954年**  
オートバイ用小型軽量型蓄電池を発売



自動車電池事業

世界のモータリゼーションの発展に貢献

**1960年代**  
早期より海外進出



自動車電池事業

電気自動車(EV)ブームの一翼を担う

**1972年**  
高性能長寿命鉛蓄電池を開発



特殊電池およびその他事業

携帯電話の進化を支える

**1993年**  
小型角形リチウムイオン電池を開発



特殊電池およびその他事業

航空機の発展を支える

**2000年代**  
米ボーイング787向けリチウムイオン電池システムを受注



産業電池電源事業

クリーンエネルギーの普及に貢献

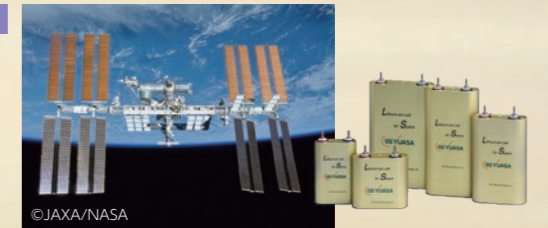
**2000年代**  
再生可能エネルギー用の蓄電システムを続々と発売



特殊電池およびその他事業

宇宙開発事業の発展を支える

**2016年**  
国際宇宙ステーションにリチウムイオン電池を搭載



車載用リチウムイオン電池事業

EVの新時代を切り拓く

**2009年**  
世界初の量産型EV[i-MiEV]にリチウムイオン電池を供給



産業電池電源事業

脱炭素社会の実現に貢献

**2021年**  
風力発電用の世界最大規模の蓄電池設備を納入



車載用リチウムイオン電池事業

電動車の普及に貢献

**2010年代**  
ホンダ向けにハイブリッド車(HEV)用リチウムイオン電池を供給



ホンダ「FIT HYBRID」

特殊電池およびその他事業

防衛産業の強化に貢献

**2010年代**  
日本初の潜水艦用リチウムイオン電池を量産



提供:海上自衛隊

車載用リチウムイオン電池事業

電動車の普及に貢献

**2020年代**  
トヨタ向けにHEV用リチウムイオン電池を供給



トヨタ「ハリアー」

1910 1950 1990 2000 2010 2020

GS(日本電池)のあゆみ

**1917** 日本電池(株)設立  
**1920** 島津源蔵が「易反応性鉛粉製造法」を発明  
**1938** アルカリ電池の製造を開始

**1966** 初の海外拠点 Siam GS Battery Co., Ltd. (タイ)を設立

**1993** 角形リチウムイオン電池を開発

YUASA(ユアサ コーポレーション)のあゆみ

**1918** 湯浅蓄電池製造(株)設立  
**1920** 自動車用鉛蓄電池の製造を開始  
**1941** アルカリ電池の製造を開始

**1963** 初の海外拠点 Yuasa Battery (Thailand) Pub. Co., Ltd.を設立

**1998** 超薄型リチウムイオンポリマー二次電池を発売



**2004** 経営統合 (株)ジーエス・ユアサ コーポレーション設立

ジーエス・ユアサ コーポレーションのあゆみ

**2007** 三菱商事(株)、三菱自動車工業(株)との合併会社(株)リチウムエナジー ジャパン設立

**2009** 本田技研工業(株)との合併会社(株)ブルーエナジー設立

**2016** パナソニック(株)から鉛蓄電池事業を譲受(現(株)GSユアサ エナジー)

**2019** 車載用12Vリチウムイオン電池の工場がハンガリーで稼働開始

**2021** サンケン電気(株)から社会システム事業を譲受

**2022** (株)ブルーエナジー 第2工場が稼働開始

トルコ拠点 İnci GS Yuasa Akü Sanayi ve Ticaret Anonim Şirketiを連結子会社化

**2023** 新会社(株)Honda・GS Yuasa EV Battery R&D設立